

平成 27 年度選挙出前トークについて

(1) 目的

未来の有権者である小中高生に対して、選挙に関する講義や模擬投票などを実施することにより、就学時から選挙の重要性を認識してもらう。

(2) 実施内容

社会科や、総合学習の授業として効果を得るため、概ね以下の内容で実施した。

- ① 県選管職員による講義
選挙の意義、投票率、若者の投票について等
- ② 模擬投票
サポーターが候補者となり、「私の理想のまちづくり」をテーマに演説し、投票する。
- ③ 投票所の解説
- ④ 開票作業のデモンストレーション等
- ⑤ 質疑応答
- ⑥ サポーターから児童・生徒に対してメッセージを伝える。

(3) 実施区分

市町村選管：小学校及び中学校（今年度から中学校は市町村で実施）

県選管：高等学校

※名古屋市選管は小学校、中学校、高等学校を実施。

(4) 実施状況

① 団体数

(ア) 県選管実施分 15 市町（14 市、1 町）

(イ) 市町村選管実施分 29 市町（26 市、3 町）

② 学校数

(ア) 県選管実施分 22 校（中学校 7 校、高等学校 15 校）

(イ) 市町村選管実施分 121 校（小学校 76 校、中学校 6 校、高等学校等 39 校）

※名古屋市選管実施分を含む。

③ アンケートに寄せられた意見・感想

- ・投票は自分の将来に関わることだから、きちんと考えなくてはいけない。（高校生）
- ・選挙は少し遠い存在だったが、模擬投票で身近に感じる事ができた。（高校生）
- ・実際に投票を体験し、18 歳になった時迷い無く行くことができると思う。（高校生）
- ・社会での選挙の意義を知り、18 歳選挙権について共に考える契機となった。（保護者）
- ・小さい頃親について投票所に行った経験はあるが、実際に投票用紙を手にして一票を投じるのは初めてのことだったので社会に目を向ける為にも役立ったと思う。（保護者）